

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	スタッフより意見	今後の改善点
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか(定員概ね10人、障害児1人当たり指導訓練室2.47㎡以上)	5			部屋数が少ないので仕切り等を使用し空間を分けて使用している。活動によって部屋を分けるなどして適切なスペースで支援出来るよう工夫している。整理整頓を行いスペースを広く取る。人数と活動によってはもう少しスペースがあると良い	今後も活動や人数に合わせて部屋を分けたり仕切りを利用するなどして工夫する。物の配置などを考え上手くスペースを確保する
	②	職員の配置数は適切であるか(児童発達支援管理責任者1名、指導員常勤換算で2名、指導員加算算定時、1名追加)	5			屋内、外出時等状況に応じて安全に見れる職員の配置を考えている。人数の多い曜日はあと1～2名いると支援が充実する。	人数に合わせた人員の配置や活動の工夫を行う
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1	2	2	段差があるが、歩行が不安定な利用児に対して、声掛けや補助等配慮している。全てのバリアフリー化は行っていないが、利用が不可能なわけではなく対処出来ている。今後車いす等の利用がある場合には改善が必要。	全てのバリアフリー化は難しいが、可能な限り対処していく
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5			個人面談での目標設定と振り返りを行っている。個人目標、施設目標などPDCAで達成を心掛けている。	今後も振り返りをしっかりと行っていく。面談の時期だけではなく、月々のケース会議でも目標に付いての振り返り等行っていく
	⑤	保護者等向け評価票を活用する事よりアンケート調査票を実施して保護者などの意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	1		定期的にアンケートを作成、協力してもらい、活動内容の見直しや支援内容の改善に努める。	定期的にアンケートで要望等ご意見を頂き、支援や活動に活かしていく
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	1		ホームページによる公開は行っていないが、保護者様へ結果の報告は行っている	
	⑦	第三者による外部評価を行い、結果評価を業務改善につなげているか	5				
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5			月1の社内研修の他に外部での研修の機会もある。新入社員向け等学ぶ機会がある。	外部での研修にも積極的に参加していき、事業所内でも伝達研修を行っていく
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で個別支援計画を作成しているか	5			保護者面談を行い、職員間で共有した上で計画書を作成している。共有することで客観的な意見も様々出てくる。アセスメントシートや面談で本人や保護者のニーズを把握し計画作成を行っている。	今後も支援者側の思いになつてしまわないよう、本人や保護者のニーズをしっかりと聞き取り計画作成を行っていく。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを活用しているか	5				定期的に確認と振り返りを行っていく
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5			会議等で相談しプログラムを立てている。会議や業務中においても都度話し合いを行い物事を決定している。会議等を通して職員全体で話し合いのもと立案している。	今後もそれぞれの思いやアイデアを出し合い計画を立てていく
	⑫	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	5			外出・調理等バランスを見て設定している。曜日をずらして計画したり、季節行事を取り入れている。新しい内容を取り入れる事や外出先を変える事で工夫している。	今後も新しい活動を取り入れたり、バランスよく取り組めるよう工夫していく
	⑬	平日・学校休業日に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	3	2		利用児によって行えている場合とそうでない場合がある。今後は利用児全員に行えるように努めていく必要がある。	一人一人に合わせた課題に取り組みステップアップを目指していく
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで個別支援計画を作成しているか	5			個別では各自課題や班活動等一人一人のペースに合わせて取り組んでいる。集団ではゲームやダンス、空手等を取り入れて作成している。	個別活動と集団活動にバランスよく取り組めるよう工夫し支援していく
	⑮	支援開始前には職員間で支援の内容や役割分担について確認しているか	5			朝礼の時間を利用し支援や子どもの状況について情報の共有を行っている。支援前には必ず朝礼を行い、その日の注意点や活動内容を確認し合って支援に臨んでいる。	引き続きその日の確認をしっかりと行い支援に臨む
	⑯	支援終了後には、職員間で支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	1	4		送迎等の関係で時間を取って行う事は難しいが、情報の共有は行っている。周知が行える環境にある。その日に出来なかったことは翌日に必ず話し合う事が出来ている。当日振り返るには時間の確保が必要。	翌日に前日の活動についての振り返りを行うようにしていく

	⑰	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5			個々のケース記録、業務日誌への記録を必ず行っている。各自で読んで、良い所は継続して伸ばし、良くない所は解決に向けて取り組み、支援に活かしている。それぞれすり合わせしながら行っている。	書いて終わりではなく、各々が確認し次の支援に繋がられるようにしていく
	⑱	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	5			年に2回のモニタリング、月1ケース会議を行い職員間での共有を図っている。	定期的なモニタリングと計画についての確認を行っている
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	5				ガイドラインとはどんなものか、定期的に読み直しや確認を行っている
関係機関や保護者との連携・関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	5			児発管が出席。担会前にはその利用児に対しての意見を職員同士で話し合っている。	担会の開催について待つだけではなく、必要と感じられる児童に関してはこちらからも働きかけていく
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換・子どもの下校時間の確認等)、連絡調整(送迎時の対応・トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	5			相違がないよう、年間・月間、下校時間のお便りを頂くようにしている。送迎時の確認も必要に応じて行う。送迎時に学校や保護者に確認を行う。	送迎時の申し送りをしっかりと行い、情報共有を行っている
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連携体制を整えているか	1	3	1	受け入れるとなれば勿論体制を整える必要がある。対象者なし。今の状況では看護師の配置もないので、受け入れの想定はないのではないか。受け入れの予定はないが、受け入れ可能な体制が取れるよう必要な知識など学んでおく必要はある。	
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	1	1	年齢的に小学校や、その時期に通っていた事業所との情報共有が多い。	他事業所との情報共有を積極的に行っていく
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等への移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4	1			必要な情報はないかこちらから働きかけていく
	㉕	児童発達支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4		1		
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		2	3	地域へのイベントへの参加はあるが、年齢的に児童との交流は少ない。地域のイベント事に参加出来るよう、情報収集や、こちらからも提案していき交流の場を作っていく。中高生の為機会が少ない。休日プログラムで児童館のイベントに参加したことがある。	参加が可能なイベントがあれば参加していく
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			5	仙台市の放課後ケアネットワーク仙台に加盟している	
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5			連絡ノートを活用し、施設、家庭での様子をやり取りしている。また送迎時にも保護者との会話を大切にしている。	連絡ノートだけではなく、送迎時の申し送りもしっかりと行っていく
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			5		
保護者への説明責任等	㉚	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧に説明を行っているか	5				
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に対し支援を行っているか	4	1		相談を受けた際にはしっかりと応じられるよう準備していきたい。	
	㉜	保護者会等を開催するなどにより、保護者同士の連携を支援しているか			5	親子行事や茶話会などを提案し、実現出来るよう段取りを組む。保護者が参加できる行事を取り入れていく。今後企画、開催していきたい。	今後親子行事や交流会を企画し開催していく
	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5				
	㉞	定期的なお便りを発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5			毎月おたよりにて発信している。写真なども掲載し、より詳しくお伝え出来るよう努めている。	活動内容がより詳しく分かるよう工夫し作成していく
	㉟	個人情報に十分注意しているか	5			マニュアルの徹底。写真掲載に気を付けている。	今後も徹底していく
	㊱	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5			保護者とは連絡ノートを通じて利用の際の様子を欠かさずお伝えしている。	伝達が難しい家庭に関しては、確実に保護者様に伝わるように工夫していく

	⑳	地域に開かれた事業運営を図っているか			5	地域との関りはほぼ無い。今後どのような形で関りを作っていくか話し合いが必要。	今後地域に貢献できるような活動を考案し取り組んでいきたい
非常時等の対応	㉑	緊急時、防犯、感染症対応マニュアルを策定し、保護者向けの災害時の対応についての内容を職員や保護者に周知しているか	5			避難場所の周知。アルコール除菌などマニュアルに沿って行動している。一人一人が徹底して行っている。研修の機会もある。	定期的にマニュアルを読み返し確認を行っている
	㉒	非常災害の発生に備え、定期的に避難・救出その他必要な訓練を行っているか	5			毎月様々な事態を想定し、避難訓練を実施している。避難経路の確認を行っている。	今後も引き続き取り組んでいく
	㉓	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5			社内研修や外部の研修に参加し、発見～対応までの流れを学んでいる。	
	㉔	どのような場合にやむを得ず身体拘束や行動制限を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか	5				
	㉕	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2	1		保護者を通じてアレルギーのみならず、控えている食品の把握も行い、食事やおやつ提供に気を付けている。	アレルギーや嗜好等定期的に確認を行い、食事やおやつ提供を行っている
	㉖	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	1	1	3	会話を通じて共有は行っているが、作成は行っていなかったため、事例が発生した場合には記録に残していく。	ヒヤリハットについての確認を行い記録に残していく

実施日 令和2年2月